

# 田中さん(弘名譽教授)に 日本独文学会賞



日本独文学会(清野智昭会長)の「第15回日本独文学会賞」日本語研究書部門に、弘前大学名誉教授・田中岩男さん(弘前市)の「真」の『ファウスト』研究序説(鳥影社)が選ばれた。同書は詩人ゲーテの

戯曲「ファウスト」の研究に数十年にわたって取り組んだ田中さんの集大成。田中さんは「作品の多様な魅力を伝えたいという思いが評価され、とてもうれしい」と喜んでいる。

「ファウスト」の多層性に始まり、第1章「ファウスト文学に現れた飛行」のモチーフから第9章「プロメテウスの末裔 悲劇、死、そして救い」を経て、終章「死と再生、あるいはファウストと自然」で結ばれる。歴史的背景についても分かりやすく紹介しながら、独自の視点で作品の多様な魅力を掘り下げており、読者からは「読み物としても面白かった」などと好評を得ているという。

田中さんは本紙取材に「『ファウスト』という古典は、情報のあふれる現代にあって、何より確かなよみ所となる『情報』の宝庫。愛の問題もあれば、死や救いの問題も扱われており、私にもこの先まだ分かることがあるのではという楽しみがある」と語った。

同賞は国内におけるドイツ文学分野の最高賞で、日本語研究書部門は、2015年度中に刊行された研究書を対象に、ドイツ文学の専門家で行われる。表彰式は5月26日、東京で開催される日本独文学会春季研究発表会に合わせて行われる。

(成田亮)

